

安全で安心なまちづくりの推進

～秋田県地域安全ネットワーク～

県警察では、県民を犯罪等の被害から守り、地域の安全に対する不安を解消するため、平成17年4月から「秋田県地域安全ネットワーク」を運用し、安全で安心なまちづくりを推進しています。



具体的には、交番・駐在所と町内会との間で構築した同ネットワークを活用して、次のような活動を行っています。

- 町内会の住民に対し、ミニ広報紙や交番・駐在所速報、地域安全メール等によるきめ細かな地域安全情報の提供
- 町内会の会合等に積極的に参加して住民からの要望や地域の安全に対する不安等を把握し、住民と連携した活動の推進と重点パトロール活動等の積極的な警察活動の展開
- 地域安全ネットワーク推進交流会の開催による自主的な地域安全活動の充実
- 公民館等を中心とした自主防犯活動の拠点整備
- 町内会活動とボランティア団体、自治体、学校との連携を強化し、地域が一体となった自主的な地域安全活動への支援



また、平成22年4月から全国警察を挙げて、「犯罪の起きにくい社会づくりの推進」を図っています。この活動では、

- 重層的な防犯ネットワークの整備
- 社会の規範意識の向上と絆の強化

の2本柱を掲げて行っています。

「犯罪の起きにくい社会づくり」のためには、自ら企画・立案し、自ら行動する、いわゆる主体的な自主防犯活動の促進が必要であり、警察では、こうした地域住民等による防犯活動のけん引役・コーディネーターとなるほか、活動の方向付けや情報提供等の側面的支援を実施することとしています。

更に、企業・事業者による社会貢献活動(CSR活動)に防犯の視点を加えた防犯CSR活動に対しても積極的に取り組んで行くこととしています。

※ CSR(Corporate Social Responsibility)とは、「企業の社会責任」と言われており事業者が社会の一員として果たすべき様々な責任を意味しています。

